



会場内に明るい笑い声

安平町子ども会育成連絡協議会主催の第2回子ども大会が2月24日、追分高校体育館で行われ、町内の小学生と中学生のジュニアリーダー合せて約70名が集まり、午前中はチームごとに分かれて綱引き大会。午後からはジュニアリーダーが考案したゲームを行いました。

小学校が町内に5校もあり、子ども同士の交流が少ない中、初めは緊張していたようでしたが、次第に打ち解け協力しあって競技に集中してきました。

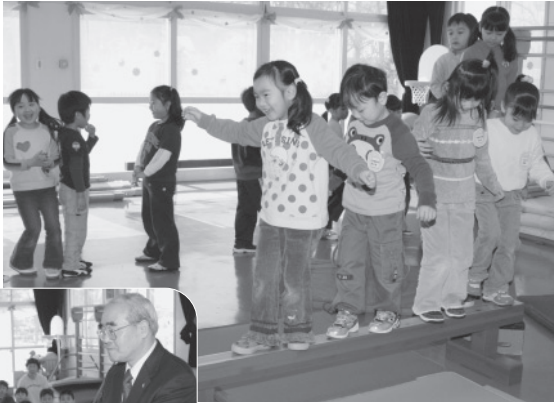
会場内は終日元気で明るい笑い声が響いていました。

大好きな遊具のプレゼントに園児も大喜び

みんな仲良く元気に遊んでくださいと、「(社)苦小牧地方法人會追分地区會」(大場正志會長)から2月25日、追分幼稚園に遊具(平均台と連結式エコマット)が寄贈され、大場會長から渡辺園長に渡されました。これは、同法人會の社會貢獻事業(青少年育成・子育て支援)の一環として実施されたもので、今回追分幼稚園に贈られたものです。渡辺園長は「この新しい遊具に子どもたちも大喜びしています。普段最も利用する遊具であり、とてもありがたいです。これからも大切に使い、そして子どもたちに大いに遊んでほしいですね。」と話していました。

早速園児たちも新しい遊具で元気に遊んでいました。

早速平均台で遊ぶ子どもたち



※法人會は、よき經營者を目指す人たちの團體で、納稅意識を高めることを目的として經營者の正しい稅知識の取得や積極的な經營など經營者を支援する組織。地域振興やボランティアなどの活動も行っている。

福祉の充実をめざして

「思いやりと、誰もが安心して暮らせる『福祉のまち』安平」をテーマに第1回安平町社會福祉大會が2月17日、早來町民センターで開催されました。福祉に関する小中学生の作文発表や、アトラクションで第2富門華寮通所部のメンバーで組織する「スマイル4 Beat」がバンド演奏。午後から釧路管内浜中町の浜中診療所名誉所長の道下俊一さんの基調講演が行われました。主催した町社會福祉協議會では、福祉の充実に向けて今後さまざまな取り組みをしていく予定とのことです。



アトラクションで行われたバンド演奏

人生の節目に新たな決意を

20歳の成人から約20年、会社では中間管理職など社会的な責任も問われる年齢です。こうした人生の節目を迎えた人を対象に早來地区では「第2成人式」と名づけ、一堂に会し共に苦難を乗り越ろうという催しが2月17日に行われました。今年の参加は17名。会食をしながら、新たな決意を持って人生を語っていました。

